

ガイダンス～AKCって何だろう？～ 教員指導案

- (1) 目標：話し合いを通して、AKCへの理解を深めるとともに、生徒のAKCへの目的意識を高める。
- (2) 教材：①「ガイダンス～AKCって何だろう？～」ワークシート1～3（A4片面 3枚）
②「令和7年度 第1回探究AKC I ガイダンス資料」（A4片面 1枚）
- (3) 持ち物：筆記用具、AKCファイル、電子辞書（あれば）
- (4) 事前準備：①ホワイトボード（各クラス10枚）、②太いペン
③班分け（4人1班）→ 各クラス担任で班分けをしておく。
④ワークシート1枚（両面A3）、ガイダンス資料1枚（各クラス40枚）
- (5) 担当者：各クラス担任（各教室で実施）

○○：1・8組、○○：2・3組、○○：4・5組、○○：6・7組、○○：9・10組

(6) 本時の指導計画

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 2分	本時の内容の確認		・本時の目標は「AKCがどのような科目かを知ること」であると説明する。
展開1 5分	ワークシート1の記入（個人）	・Q1に自分の考えを記入。	・「ワークシート」を配布する。 ・Q1に各自で静かに取り組ませる。
展開2 8分	ワークシート1の記入（グループ）	・4人1組の班を組み、座席を移動する。 ・班のメンバーと意見交換をしながら、Q2を記入。	・4人1組の班を組ませ、座席を移動させる。 ・Q2に班で取り組ませる。 ・どんなことでもよいので発言することを促し、意見交換を活発に行わせる。 ・電子辞書を活用してもよいと指示する。
展開3 5分	ガイダンス資料の説明	・AKC、iA科目の意味を知る。	・「ガイダンス資料」を配布する。 ・簡単に「ガイダンス資料」の説明を行った後、岡高キー・コンピテンシー中の <u>「知識を統合する力」とはどのような力なのか？</u> という点に注目させる。
展開4 5分	ワークシート2の記入（個人）	・Q3に自分の考えを記入。	・Q3に各自で静かに取り組ませる。 ・生徒が記入しにくそうなら、例を説明し、補助する。
例. 知識を得る → 少子化が問題になっていることを知る 統計の方法を学ぶ 知識を統合する→少子化問題の統計データを分析した上で自らの意見を持つ			・ホワイトボードを配布する。 ・Q4に班で取り組ませる。 ・ <u>ホワイトボードは、「知識を得る」段階の具体例と、「知識を統合する」段階の具体例に分けてまとめさせる。</u> ・ホワイトボードを黒板に貼らせる。 ・簡単に総評を行い、 <u>「分野融合」という視点に気づかせる。</u> [約2分間]
展開5 15分 +2分 (総評)	ワークシート2の記入（グループ）	・班のメンバーと意見交換をしながら、Q4を記入。 ・班で出た意見の中で、最も的確だといえる具体例をホワイトボードにまとめる。	・ホワイトボードを配布する。 ・Q4に班で取り組ませる。 ・ <u>ホワイトボードは、「知識を得る」段階の具体例と、「知識を統合する」段階の具体例に分けてまとめさせる。</u> ・ホワイトボードを黒板に貼らせる。 ・簡単に総評を行い、 <u>「分野融合」という視点に気づかせる。</u> [約2分間]
展開6 5分	ワークシート3の記入（個人）	・総括を聞きながら、Q5に自分の考えを記入。	・Q5に各自で静かに取り組ませる。
まとめ 3分	本時のまとめと次回の予告	・AKCファイルに本時で使用したプリントを綴じる。	・次回のAKCについて説明し、各班で持ち物を打ち合わせしておくように伝える。

令和●年度 第1回 探究AKC I ガイダンス資料

1. 岡崎高校のSSH（探求AKC）の目標

未来社会を切り拓く国際リーダーを育成するための「岡高リベラルアーツ形成・獲得プログラム」の開発

→本校では「科学を使える」ようになるための資質・能力を「岡高キー・コンピテンシー」として設定

＜岡高キー・コンピテンシー＞

- ① 知識を統合する力
- ② 課題発見力、仮説設定能力
- ③ 文章表現力、プレゼンテーション力、英語コミュニケーション力

「岡高キー・コンピテンシー」の向上 → 「岡高リベラルアーツ」の形成・獲得

※岡高リベラルアーツ：答えを見いだせていない課題を解決するため獲得した知識及び複数の視点（総合知）

2. 探究AKCについて

AKCとは**「Activities for Key Competencies」**の略称である。

1年生の内容

1学期：探究活動の基礎プログラム（「紙コップの不思議」「4枚カードと数当てゲーム」等）

2学期：科学技術社会に関するディベート、分野融合基礎プログラム

3学期：理科に関する課題研究

2年生の内容

文型：人文科学・社会科学に関するテーマについての課題研究

理型：自然科学（理数系）に関するテーマについての課題研究

3年生の内容

前半：課題研究のまとめ・「探究活動発表会」での発表

後半：専門性を高める発展的な探究活動、分野融合プログラム

3. *IA*科目について

*IA*とは以下の略称（意味）である。

i : inquiry (研究・探究) • interactive (相互作用の)

A : advanced (高度な) • active (活動的な)

※ 1年生では、「*IA*物理 I・*IA*生物 I・*IA*英語 I・*IA*情報」が設定されている。

4. SSH事業について

岡崎高校SSHでは、探求AKCや*IA*科目以外に、「探究活動発表会」の実施、研究施設・企業訪問研修、米国研修、研究室体験研修なども企画されている。

ガイダンス ~AKC って何だろう?~

Q1. これから社会では、どういう能力、資質、力をもつ人が求められていると思いますか？
「自分自身」で考えましょう。

Q2. Q1について、「各グループ」で意見交換しましょう。

※自分自身では思いつかなかった意見を、しっかり記入すること。

それを踏まえて、「AKC」や「(iA 生物などの) iA」が何の略であるか、予想しましょう。

AKC とは？

iA とは？

Q 3. 学校で学ぶことについて、「知識を得ること」と「知識を統合すること」の違いが分かる具体例を「自分自身」で考えましょう。(ただし、教科は問いません。)

知識を得る	知識を統合する

Q 4. Q 3について、「各グループ」で意見交換しましょう。

※自分自身では思いつかなかつた意見を、しっかり記入すること。

それを踏まえて、班として最も的確な具体例を「ホワイトボード」にまとめましょう。

知識を得る	知識を統合する

Q5. 「知識を統合する力」とはどのような力だと思いますか? 「自分自身」でまとめましょう。

「知識を統合する力」とは、